

oupc11 課題

tomoupc

そもそも、Windowsって？

Windowsと聞いて、パソコンのことだと思える方は多いのではないのでしょうか。

“Windows”とは、Microsoft社が販売・提供するオペレーティング・システムの総称です。

オペレーティング・システム？

なにやら聞きなれない言葉かもしれませんが、これがないとパソコンはただの箱になってしまいます。

Windowsといって思い浮かぶ身の回りのパソコンは、異なるパーツで構成されたものでもきちんと動作しますよね。

そして、どのパソコンでも同じソフトはだいたい同じように動いてくれます。

簡単に言ってしまうと、難しいことを一手に引き受けてくれる裏方さんみたいなものです。

聞いたことがあるかもしれませんが、Windows以外にもMacintoshやLinuxと呼ばれる種類のオペレーティング・システムもあります。

今回は多くの方に身近であろうWindowsの、知る人ぞ知る便利機能をご紹介します！

おすすめキーボード・ショートカット

キーボードを良く見てみると、文字を入力するためのキー以外にも、CtrlやAltと書かれたキーがあります。

Ctrlは"Control"の省略形で、「コントロールキー」と呼ぶことが多いです。

Altは"Alternate"の省略形で、「オルトキー」と呼ぶことが多いです。

また、Windowsのロゴが描かれたキーは"Windows"キーと呼ばれています。

Windowsキーを押すとスタートメニューが開きますが、他のキーは単体で押しても何も起こりません。

しかし、他のキーと組み合わせて使うことで、あっという間に便利キーに変身するのです！

たとえば、Altキーを押しながらTabキーを押してみてください。

いきなり画面が変わってしまってびっくりした方、ごめんなさい。

Windowsでは色々なソフトを起動すると、何枚もウィンドウが隠れてしまいますよね。そこで、このキーボード・ショートカットの出番です。

Altキーを押しっぱなしにしてTabキーを押していくと、一番前に持ってきたいウィンドウを順番に選べます。

ここから先では、毎回○キーを押しながら×キーを押す、と書くと長ったらしいので、例えば先ほどのショートカットは

[Alt]+[Tab]

と表記することにします。

さて、Windowsでなにかソフトを起動すると、大体上のほうにメニューバーがありますよね。

ファイル(F) 編集(E) . . . ヘルプ(H)

↑こんな感じの。

ExcelやWordだと、このメニューバーをクリックして開くことが多いと思いますが、ここでもAltキーの出番です。

試しにAltキーを押してみてください。

メニューバーのメニューが選択された状態になりませんでしたか？

このときに矢印キーを使うと、メニューバーを操作できます。

また、ファイルメニューを開きたいときは、[Alt]+Fで一発に開けます。

ファイル(F)で下線が引かれた文字キーをAltキーと同時に押すだけです。

もうひとつAltキーのショートカットを教えましょう。

開いているウィンドウを閉じるショートカットなので、使うときは注意してください。

[Alt]+[F4]です。

右上の×印を押すのと同じことができます。[F4]はファンクション4キーです。

ノートパソコンで該当するキーがない場合は、[Fn]キーを押しながら4キーを押すことで[F4]キーと同じ機能が使えます。この場合は、[Alt]+[Fn]+4というなんともまどろっこしいショートカットになってしまうのですが。。

何もウィンドウを開いていないときに使うと、Windows自体を終了するショートカットになります。

いちいちスタートメニューを開くのが面倒な方にオススメです！

次は、Ctrlキーの組み合わせです。

色々な場面で活躍するショートカットが多いので、少しずつでも覚えましょう！

[Ctrl]+Z

このショートカットは、「元に戻す」機能です。

あ、間違えた！そんな時はあわてずこのショートカットを押してみましょう。

大体Ctrlキーが左下にあって、そのすぐ近くにZキーがあります。

Wordで文字を打ち間違えたときにも、間違ってファイルをゴミ箱に移してしまったときにも使えます。

さて、[Ctrl]+Zを連打しすぎたときには、

[Ctrl]+Y

を押しましょう。「元に戻し」たことを「やり直す」機能です。

ただ、先ほどと違ってCtrlキーから離れた場所にあるので、なんだか覚えづらい気もします。

覚え方としては、ちょっと無理やりですが"Zの前にやり直すからY"なんてどうでしょう。

・・・やっぱり覚えづらいですね。。。

気を取り直して次のショートカットに進みましょう。

[Ctrl]+X

これは、「選択範囲を切り取る」機能です。そして、

[Ctrl]+C

は、「選択範囲をコピーする」機能です。さらに、

[Ctrl]+V

は、切り取ったりコピーしたりしたものを「貼り付け」る機能です。

よく見ると、先ほどの[Ctrl]+Zから順番に1つずつ右隣にある文字キーを使っていますね。

選択範囲にあるものがファイルだと、ファイルの「切り取り」「コピー」ができますし、インターネットを見ていて気になった文章を選択している場合は、さすがに「切り取り」はできませんが、「コピー」することができます。

下手にゴロで覚えるよりも、場所で覚えてしまいましょう。

また、

[Ctrl]+A

は、「全選択」機能です。マウスを端から端までドラッグしたように、全部選択できます。

Allの"A"と覚えましょう。Zキーのすぐ上にあるので、先程のキーボードとまとめて覚えちゃいましょう。

また、何か文章を編集しているときに、

[Shift]+[矢印]

で、Shiftキーを押したときのカーソルからShiftキーを離したときのカーソルまでの文字を選択することができます。

このショートカットと先程紹介したショートカットを組み合わせると、マウス無しで文章の編集が大体できてしまいます。

慣れると簡単ですし、なんだかちょっとカッコいいです。

[Ctrl]+S

は、「上書き保存」機能です。Saveの"S"と覚えましょう。

ExcelやWordは、何かあったときのためにこまめに保存しろなんていわれますが、これさえ覚えておけばさくさくっと保存できるので便利です。

また、Webブラウザでこのショートカットを押すと、なんと見ているWebページを保存することもできます。

とはいえ、表示されているものを保存するだけなので、Web上のサービス全ては保存できないことを注意してください。

次に紹介するのは、

[Ctrl]+F

です。

文字列を検索することができます。Findの"F"と覚えましょう。

ちなみに、フォルダを開いているときにこのショートカットを使うと、ファイルの検索もできちゃいます。

ところで、文章を変換しているときに、たくさん漢字の候補が出ますよね。

でもひらがなやカタカナ、半角英字や全角英字を入力したい！なんてこと、ないですか？

そこで、オススメのショートカットがこちら。

[F6]～[F10]

変換中に[F6]を押すとひらがなに、[F7]を押すと全角カタカナに、[F8]を押すと半角カタカナになります。

また、[F9]では全角英数字、[F10]では半角英数字になります。

[F6]を繰り返し押すと、「あああああ」→「アああああ」→「アアあああ」→・・・のようになり、[F7]はその逆順になります。

[F8]を繰り返し押すと、「アアアアア」→「アアアアあ」→「アアアああ」→・・・と変化します。

[F9]を繰り返し押すと、「a b c d e」→「A B C D E」→「A b c d e」を繰り返します。

[F10]の場合は、[F9]と同様に「abcde」→「ABCDE」→「Abcde」を繰り返します。

まとめ

今まで紹介したショートカットをおさらいしましょう。

[Alt]+[Tab]：ウィンドウの切り替え

[Alt]+下線文字：メニューバーのメニューを開く

[Alt]+[F4]：開いているウィンドウを閉じる(ウィンドウを開いていないときはWindowsの終了)

[Ctrl]+Z：元に戻す

[Ctrl]+Y：やり直す

[Ctrl]+X：切り取り

[Ctrl]+C：コピー

[Ctrl]+V：貼り付け

[Ctrl]+A：全選択

[Shift]+[矢印]：カーソルの範囲選択

[Ctrl]+S：保存

[Ctrl]+F：検索

文字変換中に

[F6]：ひらがなに変換

[F7]：全角カタカナに変換

[F8]：半角カタカナに変換

[F9]：全角英数字に変換

[F10]：半角英数字に変換

実はほかにも色々なショートカットがありますが、これくらいを知っているだけでもかなり便利だと思います。気になる方は是非グーグルなどで検索してみてくださいはいかがでしょうか？

検索例：[http://www.google.co.jp/search?q=Windows キーボードショートカット](http://www.google.co.jp/search?q=Windows+キーボードショートカット)

キーボードだけじゃない！ショートカット機能

前のページでは、キーボードだけで色々な操作ができることを紹介しました。
でも、Windowsの便利機能はそれだけじゃないんです！

ショートカット機能

なにかソフトをインストールしたとき、アイコンに曲がった矢印がついているのを見たことがありませんか？



たとえば、PDFを見るために"Adobe Reader"をインストールすると、上のようなアイコンがデスクトップにできます。

このアイコンの左下に曲がった矢印がくっついていますね。

これが、ショートカットです。キーボード・ショートカットと紛らわしいのですが、全くの別物です。

では、ショートカットとはなんなのでしょう。

簡単にいってしまうと、「ソフトへの近道」です。

通常では、インストールされたソフトは"C:\Program Files"という場所に格納されます。

本来なら格納されているフォルダを開いてから適切なソフトを実行しなければいけないのですが、このショートカットを実行すると、そのフォルダに行かなくても適切なソフトを実行してくれるのです。

ショートカットアイコンがデスクトップにある人は、試しにアイコンを右クリックして、「プロパティ」を開いてみましょう。



こんなウィンドウが出てくると思います。

リンク先(T):の右側にある文字列が、本体の場所を表しています。

「ファイルの場所を開く」ボタンをクリックすると、本体がいるフォルダを開きます。

実は、インストールされたソフトの中には、同じフォルダに別のファイルがないとうまく実行されないものもあります。

ショートカットが指し示す本体だけをコピーしても、他のフォルダでは実行できないのです。

しかし、ショートカットは本体の場所を指し示しているだけなので、ショートカットがどんな場所にあっても本体を実行できるのです。

Windowsといっしょに起動

次は、ショートカットを使って面白いことをしてみましょう。

スタートメニュー>(すべての)プログラム>スタートアップ
と展開し、「スタートアップ」を右クリックして「開く」を選択しましょう。
もしかしたらいくつかショートカットが登録されているかもしれません。

このフォルダは特殊なフォルダで、中にあるファイルをWindows起動時に実行するように設定されています。

つまり、このフォルダにいつも開くプログラムのショートカットを登録しておけば、起動時に勝手に開いてくれるようになります。

逆に邪魔だと思ったときは、フォルダからショートカットを消せばいいのです。

では、どうやってショートカットを登録するのでしょうか。

1. 「スタートアップ」フォルダを開く
2. Windows起動時に実行したいプログラムを右クリックしたまま「スタートアップ」フォルダに持ってくる
3. 「ショートカットをここに作成」をクリック

これだけです。

登録するショートカットがフォルダを指している場合は、Windows起動時にそのフォルダを開きます。

また、音楽ファイルへのショートカットを登録した場合は、Windows起動時にその音楽が再生されるようになります。

スタートアップフォルダの中身は、Windowsが起動時に勝手にダブルクリックすると考えれば分かりやすいでしょうか。

さて、ここで問題です。

ショートカットはファイルやフォルダへの行き先情報なので、どんなところにおいても本体を実行できると説明しました。

では、ExcelやWordのファイルをダブルクリックすると、どうして適切なプログラムが実行されるのでしょうか？

Windowsの秘密にせまる！

前ページの問題の答えは、ここで説明しましょう。

実は、プログラムをインストールすると、特別な情報がWindowsに設定されます。

例えば、Adobe Readerをインストールすると、Adobe ReaderがPDFファイルを開くプログラムであるという情報がWindowsに設定されるのです。

このおかげで、わざわざAdobe Readerのアイコンを開かなくても、PDFファイルをダブルクリックすれば中身が見えるようになるのです。

同様のことがExcelやWordのファイルにもいえます。

では、プログラムごとに開くファイルの種類はどのように分類されているのでしょうか。

全てのファイルには、隠された短い名前があります。

PDFのファイルには、.pdf、Excelのファイルには.xlsや.xlsxなど、"."「ピリオド」で始まる3～5文字程度の文字列が、名前の後ろに隠されています。

これを拡張子といいます。

この拡張子が書き換えられてしまうと、そのファイルがどのプログラムで開かれるものなのかが分からなくなってしまうため、初期設定では隠されているのですが、設定を変更するとファイル名に拡張子を表示させることができます。

ある程度詳しい人は拡張子を見てファイルの種類を判断することができますし、ちょっとしたスクリプトを書くときには、普通のテキストファイルにスクリプトを書いた後に拡張子を書き換えることもあります。

拡張子ごとにどのプログラムを実行するかの情報は、レジストリと呼ばれるWindowsの重要な設定ファイルに書き込まれます。

レジストリには、他にも様々なWindowsの重要な設定が含まれているため、壊れてしまうと最悪Windowsが起動しなくなることもあります。

プログラムをインストールするたびに再起動するのは、このレジストリが中途半端に変更されてWindows全体に不具合が起きない様にするためだったのです。

もしなんらかの不具合でレジストリが書き換えられてしまった場合、「システムの復元」機能でレジストリを元に戻すことができます。

復元方法はWindowsの種類によって変わってくるので、[こちらのWikipediaのページ](#)で確認してく

ださい。

「システムの復元」では、レジストリ情報が元に戻るだけなので、自分で作ったドキュメントや画像などのファイルがさかのぼって削除されることはありません。もしおかしいな、と思うことがあれば、試してみるといいかもしれません。